



# Whenever Wherever Festival 2025

共生と社会と〈らへん〉

1秒に1秒進むtime machineを  
一緒につくるということ

2025.2.1 [Sat]・9 [Sun]

アーティスト | Artist

2月1日 [土] | SHIBAURA HOUSE

宮下寛司、ワークショップ参加者/Aokid、畠中真濃、村上慧 ほか/  
都路拓未、ジュリア・ファン [Julia Huang] (キュレーター: 吉田拓) /  
山崎広太、穴山香菜、三浦宏予、山野邊明香、長沼航 /  
たくみちゃん ほか / Aokid ほか /

穴山香菜、中屋敷南、西本健吾、松本奈々子 (企画: チーム・チープロ) /  
西村未奈、北島由記子、田中瑞穂 ほか

2月9日 [日] | リーブラホール (港区立男女平等参画センター)

Aokid、あだち麗三郎、酒井風、よだまりえ / 山崎広太、  
モチギミユ、鶴家一仁、黒沼千春、望月寛斗、堀田千晶、  
リエル・フィバク / ARICA [藤田康城 (演出)、安藤朋子 (出演)、  
山崎阿弥 (声)]、木村玲奈 ほか / 日比野桃子、  
岩田奈津季 (キュレーター: WWFes2025) /  
岡啓輔、蟻鱒鳶ルダース / 神村恵、萩原雄太 & 王夢凡、  
黒田杏菜、山縣太一、アグネス吉井

1月18日 [水] | 芝の家 2月 予定 | オンライントーク

木村玲奈 ほか 郡司ペギオ幸夫 ほか

2月5日 [水]・6日 [木] | 東京都港区内

西村未奈、梅原徹、山川陸

2月1日会場  
SHIBAURA HOUSE

東京都港区芝浦3-15-4

「田町駅」芝浦口徒歩7分 / 「三田駅」A4出口徒歩10分

2月9日会場  
リーブラホール [港区立男女平等参画センター内]

東京都港区芝浦1-16-1 みなとパーク芝浦1階

「田町駅」芝浦口徒歩5分 / 「三田駅」A6出口徒歩6分

1月18日会場  
芝の家

東京都港区芝3-26-8

「芝公園駅」「赤羽橋駅」徒歩7-8分 /  
「田町駅」「三田駅」徒歩10分

キュレーター | Curator

WWFes2025キュレーター

Aokid、岩中可南子、五月めい、西村未奈、山崎広太

ゲストキュレーター

木村玲奈、たくみちゃん、チーム・チープロ、宮下寛司、吉田拓

スタッフ | Staff

テクニシャン: 河内崇

記録 (写真・映像): 酒井直之

グラフィックデザイン: 松本直樹

ウェブサイト: 中村泰之

制作: 岩中可南子、林慶一

お問い合わせ

E-mail | wheneverwherever.2020@gmail.com

Tel | 080-3574-0207 (担当: 岩中)



Whenever Wherever Festival (WWFes) 2025は、東京都港区のパブリックスペースや、港区立の施設などの会場でおこなわれる、ダンス/パフォーマンス・フェスティバルです。

WWFes2025では、2024年11月より港区の複数の場所、主に区民センターなどを起点にしてワークショップやワーク・イン・プロGRESS (WIP) が進行します。そして、それらの一部成果発表やショーケースで構成されたイベントを、SHIBAURA HOUSE、リーブラホール (港区立男女平等参画センター内) を中心に2025年2月上旬に実施し、さらにその後、オンライントークで振り返りつつ、フェスティバルの可能性を掘り下げます。

WWFesは、場所と記憶と身体が浸透し、時空を越えて重なりあうような領域を、「周辺」を意味する〈らへん〉と名づけて主題化し、港区エリアで過去2回展開してきました。それは公園などの野外の場においても、新たなパフォーマンスの形態を見出そうとすると同時に、オルタナティブなプラットフォームを探る試みでもありました。

WWFes2025の探求は、その延長上に位置します。最大公約数的なあり方に取まりきらない、周縁的なアーティストらによる、独自の身体表現を伴う作品や思考の交換を通して、共生や社会を捉え直そうとすること。その実験には、無数の異なる、固有の時空間が内包されているはず。そうした非同期的な生が、包括的 (インクルーシブ) ではない方法で同期する瞬間を想像し、掴みとるための手がかりとして、掲げたコンセプトが「1秒に1秒進むtime machineを一緒につくるということ」[\*]です。

\*WWFes2025コンセプトテキストはウェブサイトにて公開中。



X @bodyartslab

IG @wwfes\_bal

プログラム情報など詳細はこちら

WWFesとは WWFesは、ダンスアーティストらによるコレクティブが運営する身体芸術のフェスティバルです。アーティストが創造する環境自体を問い、創作プロセスや先鋭性を重視したプログラムを特徴とします。またキュレーター制によって多くのアーティストがかかわり、11回目を迎える今回、5組6名のゲストキュレーターと協働します。

<https://bodyartslabo.com/wwf2025/>

**Day1** 会場 **2月1日 [土] SHIBAURA HOUSE** 港区芝浦3-15-4

港区で行なってきた3つのワークショップの発表と、参加型盆踊り企画のほか、2つの実験的ショーケースを実施  
ディスカッション・ミーティングは飛び入り参加歓迎!

開始時間	内容時間	ジャンル	プログラム	アーティスト
10:00	1h 30min	公開ディスカッション	《インターユニ勉強会 #2: 港区で(自分なりの)生の形式を見つける》	メンバー: 宮下寛司、ワークショップ参加者
11:40	45min	ワークショップ発表	《どんなに街が発展しようと、このからだは人を見つけ挨拶とかをしたがるクルー》	発表: Aokid、ワークショップ参加者
12:35	45min	ショーケース	《new genショーケース:side A》	出演・振付: 都路拓未、ジュリア・ファン (Julia Huang) (キュレーター: 吉田拓)
13:30	45min	ショーケース	《View Viewしんばしばしんばし View》	出演・振付: 山崎広太、穴山香菜、三浦宏予、山野邊明香、長沼航
14:25	45min	ワークショップ発表	《クラブに行く倶楽部》	発表: たくみちゃん、ワークショップ参加者
15:15	30min	ミーティング	《TryDanceMeeting》	メンバー: Aokid、参加者
15:50	45min	ワークショップ発表	《ローラースケートダンスローラー》	出演: 穴山香菜、中屋敷南、西本健吾、松本奈々子 (企画: チーム・チープロ)
16:50	1h 40min	ダンスプロジェクト	《盆踊りアナーキー!》	出演: 西村未奈 (企画)、北島由記子 (企画アドバイザー)、田中瑞穂 (企画アドバイザー) ほか
18:30	プログラム終了			

\*プログラムの時間は若干、前後する場合がございます。  
\*プログラムの内容は予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。

**Special Program** 会場 **1月18日 [土] 芝の家** 港区芝3-26-8

ダンス作品の創作・発表・譲渡・アーカイブを通じて、共に生きる/踊ることを捉え直していく作品

開始時間	内容時間	ジャンル	プログラム	アーティスト
13:00	3h [途中休憩を挟む]	ダンスプロジェクト	《ダンスタイムカプセル》お渡し会+埋める日	振付: 木村玲奈、協働者: 言葉、記憶、物語を伝えてくださった方々、協力: 芝の家

無料/要予約/定員あり [25名]

**2月5日 [水] 6日 [木]** 集合場所: **東京都港区内** \*参加者に告知

全6回・各1名限定の体験型作品

開始時間	内容時間	ジャンル	プログラム	アーティスト
各日 19:00—20:00—21:00—	各回 30min 程度	ダンスプロジェクト	《幽閉の劇場と8感のラップ》	コンセプト: 西村未奈、デザイン/デリバリー: 梅原徹、西村未奈、山川陸

\*各回定員1名(応募選考)。WWFes2025(2/1,2/9)のチケット購入者の方のみ、ご応募いただけます。  
\*応募の詳細は、右記のお申込み情報をご覧ください。

**Day2** 会場 **2月9日 [日] リーブラホール** (港区立男女平等参画センター) 港区芝浦1-16-1みなとパーク芝浦2階

パブリックスペースでの新しいパフォーマンスを開拓するダンスプロジェクトなどの4つのショーケース、音楽LIVEのほか、芝の家での作品創作の報告会、特異な建築物「蟻鱒鳶ル」(港区)をめぐるトークを開催

開始時間	内容時間	ジャンル	プログラム	アーティスト
11:30	40min	LIVE	《し~0~C~お~》	出演・作曲: Aokid、あだち麗三郎、酒井風、よだまりえ
12:20	30min	ショーケース	《ウェンウェアダンス》	出演・振付: 山崎広太、モテギミュ、鶴家一仁、黒沼千春、望月寛斗、堀田千晶、リエル・フィバク
13:00	25min	ショーケース	《NEGAERI》	ARICA   演出: 藤田康城、出演: 安藤朋子、声: 山崎阿弥
13:35	40min	ダンスプロジェクト	《ダンスタイムカプセル》報告会	振付: 木村玲奈、協働者: 言葉、記憶、物語を伝えてくださった方々、協力: 芝の家
14:25	45min	ショーケース	《new genショーケース:side B》	出演・振付: 日比野桃子、岩田奈津季 (キュレーター: WWFes2025)
15:20	1h	トーク	《蟻鱒鳶ルトーク——みんなで一緒に建てること》	出演: 岡啓輔、蟻鱒鳶ルダース
16:50	2h 20min	ショーケース	《Not about Judson in Tokyo》上演後、トーク予定	出演・振付: 神村恵、萩原雄太 & 王夢凡、黒田杏菜、山縣太一、アグネス吉井
19:10	プログラム終了			

\*プログラムの時間は若干、前後する場合がございます。  
\*プログラムの内容は予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。

**チケット | Ticket**

SHIBAURA HOUSE (2月1日)・リーブラホール (2月9日)

**チケット取扱い** | Peatix | <https://wwfes2025.peatix.com/events>

**料金**  
一般 | [1日券] 3,000円、[2日セット券] 5,000円  
割引 | [1日券] 2,500円、[2日セット券] 4,500円

**QRコード**

- \*1日券の場合は、チケットご購入時に来場日をお選びください
- \*割引対象者: 港区在住、在勤、在学、または24歳以下 および65歳以上の方 (ご来場時、要証明書)
- \*当日券はございません

**Special Program お申込み**

芝の家 (1月18日) **予約フォーム**

**料金** 無料  
予約フォームよりお申込みください

幽閉の劇場と8感のラップ (2月5日・6日) **応募フォーム**

**料金** 無料 応募締切: 2025年1月19日 [日] 24:00  
応募フォームよりお申込みください。

- \*各回定員1名(応募選考)となります
- 選考結果は1/23 [木] までに応募者に告知
- \*WWFes2025(2/1,2/9)のチケット購入者の方のみご応募いただけます
- \*応募フォームでプログラム情報をご確認の上、ご応募ください

Whenever Wherever Festival 2025 共生と共益とらへん 1秒に1秒進むtime machineを一緒につくるということ

Whenever Wherever Festival 2025 共生と共益とらへん 1秒に1秒進むtime machineを一緒につくるということ